

平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

膣トリコモナス/マイコプラズマ・ジェニタリウム

上記の性感染症検査につきまして検査受託（外注）開始いたしますのでご案内いたします。

膣トリコモナス感染症は原虫による感染症で、男性では尿道炎、女性では膣内のかゆみやただれを起こします。マイコプラズマ・ジェニタリウムは尿道炎、子宮頸管炎や骨盤内炎症性疾患を起こす細菌で、近年、非淋菌性非クラミジア性尿道炎の原因菌として注目され、薬剤耐性菌の増加が問題となっています。

どちらも培養検査では1週間程度かかりましたが、遺伝子検査により迅速、かつ高感度に検出可能となりました。どうぞご利用ください。

【検査項目概要】

検査項目名	膣トリコモナス及びマイコプラズマ・ジェニタリウム同時核酸検出
検体	尿 / 頸管ぬぐい液 * 遺伝子検査のため滅菌容器に採取してください * 頸管ぬぐい液は専用採取容器がありますのでお問い合わせください
検査方法	リアルタイムPCR法
所要日数	2～3日
検査実施料	350点（D023微生物核酸同定・定量検査「10」）
判断料	150点（微生物学的検査判断料）
留意事項	膣トリコモナス感染症を疑う患者であって、鏡検が陰性又は実施できない者、又はマイコプラズマ・ジェニタリウム感染症を疑う患者に対して治療法の選択のために実施した場合及び膣トリコモナス感染症又はマイコプラズマ・ジェニタリウム感染症の患者に対して治療効果判定のために実施した場合に算定
備考	総合検査依頼書、または細菌検査依頼書の欄外に検査項目をご記入ください

胃内視鏡検査 麻酔料

令和5年4月1日より内視鏡検査の麻酔について、キシロカインポンプスプレー8%0.5mL使用とさせていただきます。これに伴い、麻酔料は廃止させていただきます。

肺機能検査の再開

令和5年5月8日より、肺機能検査（肺活量、%肺活量、努力性肺活量、一秒量、一秒率）を再開いたします。